

〒130-0004 東京都墨田区本所 1-3-7 03 (3621) 6171 ライオン健康保険組合

## 「平成29年度決算、組合会で承認」

平成30年7月20日に開催された第160回組合会において、平成29年度の事業報告及び収入支出決算報告が審議・承認されましたので、その概要をご報告致します。一般勘定は602百万円の黒字（繰入金50百万円あり実質約552百万円の黒字決算）、介護勘定では約18百万円の黒字（繰入金30百万円あり実質約12百万円の赤字決算）となりました。この結果平成29年度末の総財産は一般勘定2,298百万円（法定準備金500.0百万円、別途積立金1,797.3百万円、その他財産0.79百万円）、介護勘定101.1百万円（介護準備金）となりました。

### 事業概要

健保組合の財政は、高齢者医療制度創設以降、11年連続の赤字で、赤字組合数は、組合全体の6割を超える状況となっています。また、保険料収入に占める支援金等の割合は依然として高い状況が続いており、拠出金の増加が健保組合の財政を大きく圧迫し続けています。このように厳しい財政状況の中、当健保の平成29年度健康保険料率は、一般保険料率95.0/1000、介護保険料率は13.0/1000で現状維持のまま据え置いております。また、前期高齢者医療費もこの3年間一定水準を維持している。（平成27年：60,575千円→平成28年：62,198千円→平成29年：73,532千円）一方、高額療養費は増加傾向にあり、給付費全体でも約60.8百万円増加した。特に保険料収入に占める納付金・拠出金の負担割合が35%（前年39%、健保平均43%）と減少し、財政状況が安定してきた。

この結果、一般勘定の収入支出決算状況は、総収入金額3,134,104千円、総支出2,531,672千円で収支差は602,432千円となりますが、50,000千円の繰入分があるため、実質552,432千円の黒字となります。また、介護勘定は、総収入335,430千円、総支出317,406千円で、18,024千円の黒字となりますが30,000千円の繰入金があり、実質11,976千円の赤字となります。総保険給付費は1,251,882千円で、前年度より60,838千円増加し（前年比105.1%）一方で、拠出金・納付金等の総額は、1,027,590千円で、前年度より91,686千円減少しました。（前年比91.8%）適用状況は、被保険者数が平成29年度は前年より87人減の4,810人となりました。同じく被扶養者も前年度より138人減の4,128人で、総加入者は8,938人（前年比97.5%）となりました。

保健事業は計画通り遂行し、主な事業は、疾病予防、健康づくり運動、保健指導宣伝（健保ニュース、健康講話等）、体育奨励事業、データヘルス計画に基づく、事業体との連携による重症化予防、受診率向上の為の施策実施等です。特に、疾病予防においては、従来実施していた、健康づくりセミナー（LIS21）をリニューアルし、大阪1回、東京3回実施しました。その他、ライオン歯科予防プログラム（ALOHA）の実施、ふれあい健康事業推進協議会主催のセミナー参加などに加え、特定健診・特定保健指導を対応するため、アウトソーシング（LSIメディア）による家族健診の継続、婦人科健診における乳房マンモグラフィーの導入（40歳以上偶数年齢者）、被保険者に対する特定保健指導としての動機付け、積極的支援等を実施しました。更には、今回、国のコンソーシアムに参加し、今まで未着手だった被扶養者の積極的支援についても実施を試みしました。

## 決 算 概 要

一般勘定における決算は、総収入 3,134,104 千円、総支出 2,531,672 千円で、収入に繰入分 50,000 千円が含まれ、実質 552,432 千円の黒字となりました。

1. 収入面 ⇒ 健康保険料率について 一般 95.0/1000 のまま現状維持。被保険者は 87 人減、平均標準報酬月額が前年から 5,517 円増により実績としましては、総収入金額が 3,134,104 千円（98.4%）となりました。
2. 支出面 ⇒ 総拠出金は 1,027,590 千円（保険料収入に占める割合約 35%）で、前年度より 91,686 千円の減少(91.8%)となりました。内訳は前期高齢者納付金 378,642 千円、後期高齢者支援金 610,574 千円、退職者給付拠出金 38,367 千円等です。

介護勘定における決算は、介護保険料率を 13.0/1000 のまま現状維持、保険料徴収対象者数 3,063 人、総収入金額は 335,430 千円、総支出金額は 317,406 千円で、18,024 千円の黒字となりました。収入支出決算残金処分後の財産状況を下記に示します。

## 平 成 2 9 年 度 末 財 産 目 録

収支決算の結果、平成 29 年度残金処分後の健康保険組合の財産は次の通りとなりました。

### 【一般勘定】

種 別	平成 29 年度金処分後 (千円)
法定準備金	500,000
別途積立金	1,797,311
土地	0
建物	0
建築物	0
器具	611
無形固定資産	180
	2,298,102

### 【介護勘定】

種 別	平成 29 年度残金処分後 (千円)
準備金	101,188
合 計	101,188

## 平成29年度収入支出決算（一般勘定分）

＜健保組合運営の基礎数値＞（平成29年3月～30年2月平均）

平均標準報酬月額	398,030円	被扶養者数	4,128人
被保険者数	4,810人	扶養率	0.87人
平均年齢	44.48歳		

＜収入の部＞		＜支出の部＞	
科 目	実績値（千円）	科 目	実績値（千円）
健康保険料収入	2,933,318	事務費	58,563
国庫負担金	687	保険給付費	1,251,882
利子収入	27	拠出金	1,027,590
施設利用料	6,500	保健事業費	151,333
特定健診・保健指導補助金	1,259	連合会費	1,073
特定健診等事業収入	26,620	雑支出	534
その他雑入	3,140		
小計（経常収入）	2,971,551	小計（経常支出）	2,490,975
調整保険料収入	40,697	財政調整事業拠出金	40,697
高齢者助成事業費	37,135		
財政調整事業交付金	34,721		
準備金・別積繰入	50,000		
収入合計	3,134,104	支出合計	2,531,672

## 平成29年度収入支出決算（介護勘定分）

＜健保組合運営の基礎数値＞（平成29年3月～30年2月平均）

平均標準報酬月額	441,048円	（介護保険料徴収対象者の平均）	
*介護保険対象者数	4,298人	**介護保険料徴収対象者数	3,063人
*40歳～65歳未満の被保険者及び被扶養者		**40歳～65歳未満の被保険者及び40歳未満の被保険者（但し40歳～65歳未満の被扶養者がいる人）	

＜収入の部＞		＜支出の部＞	
科 目	実績値（千円）	科 目	実績値（千円）
介護保険料繰入金	301,893	介護給付金	317,406
国庫補助金	30,000	その他	0
その他雑入	3,527		
	10		
収入合計	335,430	支出合計	317,406

## 保 健 事 業 報 告

### 1. 保健指導宣伝事業

健保ニュース、医療費のお知らせ等を配布し、保険給付への理解促進と医療費適正化への啓発活動を行いました。

また、事業主と協同し健康管理推進委員会や事業所健保窓口担当者打合せ会の開催により、保健指導の推進・情報交換を行いました。各事業所では、衛生講話、健康講話、健康教室(禁煙セミナーなど)、心の健康づくり指導、健康PR紙の配布等により保健衛生普及活動を行いました。

### 2. 疾病予防事業(含む 特定健診・特定保健指導)

#### (1) 特定健診・特定保健指導

平成20年度に開始した生活習慣病の予防を目的とした特定健診・特定保健指導の義務化への取組みを継続して実施しました。

特定健診は40歳以上74歳以下の被保険者及び被扶養者が対象となるため、昨年度と同様従来実施していたドック健診及び家族健診を通して行いました。被保険者に対しては事業体にて実施し、一方、被扶養者及び任意継続被保険者(含む家族)に対しては外部機関(三菱化学メディエンス)への委託により行いました。また、婦人科健診の乳ガン検査では35歳以上のエコー検査とともに、40歳以上では偶数年齢対象者に乳房X線(マンモグラフィ)検査を継続して行っています。

特定保健指導については、健診データの階層化に基づき平成27年度の被保険者に対する動機付け支援を中心に実施しました。積極的支援については、平成24年度より全国展開しています。外部委託(ベネフィットワン・ヘルスケア及びSOMPOリスクマネジメント)による支援を行いました。平成29年度は厚生労働省主催のコンソシアムに参加し被扶養者への特定保健指導についても着手し、今後の継続についても検討を予定しています。

#### (2) ライオン健康づくりセミナー(愛称 LIS21:Lion life Innovation Seminar21)

事業主と協同して、生活習慣病予防のため35才到達被保険者を対象に「ライオン健康づくりセミナー」を行っていましたが、平成28年度は内容等のリニューアルのため、実施を見送りました。今年度は、従来の合宿形式を改め、日帰り1日の研修とし、大阪事業所にて1回、東京にて3回、計4回の生活習慣病予防セミナーを実施しました。

#### (3) ライオン歯科予防プログラム(愛称 ALOHA: All Lion Oral Health Activity)

歯科健診(ライオン歯科予防プログラム)を定期健康診断の必須項目に組入れ、被保険者(任意継続被保険者を除く)を対象に、協力してEラーニングによる知識学習後、歯科相談、ブラッシング指導等の予防処置及び事後指導を行い、延べ6,110名が受診しました。

### 3. 体育奨励事業

各事業所文体サークル、労働組合等の協賛企画を含め、例年と同様に多彩な行事により、家族ぐるみの体育行事を奨励し、健康づくりを進めました。

## ライオン健康保険組合からのお知らせ

### ● 「被扶養者(家族)の確認」にご協力ください(平成30年8月下旬調書配布予定)

厚生労働省の通達により、被扶養者(家族)の現況を確認させていただくために、「被保険者・被扶養者調書」をお送り致します。被保険者の皆様には、収入がある場合や年齢などに応じて必要な関係書類の添付が必要となりますので、お手数をおかけ致しますが、期日までに提出していただきますよう宜しくご協力の程、お願い致します。

次の事項に該当した場合は、「被扶養者異動届」を当健保組合へ提出して下さい。

- ① 就職等で扶養されなくなった方
- ② パート・年金等の年間収入が、60歳未満の方は130万円以上(障害年金受給の方は180万円以上)、60歳以上の方は180万円以上あるまたは見込まれる。
- ③ 結婚により配偶者(無収入または②の基準を超えていない)ができた。
- ④ お子様が生まれた
- ⑤ 75歳(一定の障害のある方は65歳)になったとき⇒後期高齢者医療制度に加入します

尚、18歳以上のお子様(高校生は除く)は収入の有無にかかわらず、収入に関する資料収入のある方：課税証明書他、収入を確認できるものを提出して下さい。

収入のない方：非課税証明書を提出して下さい。

### ● 平成30年度家族健康診断のご案内について

当健康保険組合は、35歳以上に加え、40歳以上から74歳以下の被扶養者および任意継続被保険者の方を対象に、家族健康診断が受診しやすい体制づくりを進めております。

平成30年度の家族健康診断につきましては、昨年と同様に、外部機関「LSIメディエンス株式会社」に“健診のご案内”、“受療勧奨通知の同封”から、未受診者への備忘事前通知、健診後の“健診結果”把握等の業務代行を委託しています。健診受診対象者の方々には、6月中旬に“健診のご案内”を一斉発送し対象者の方へ個別に直接お送りさせて頂きました。

○50歳以上の男性にPSA検査(前立腺がん腫瘍マーカー)が項目追加となっています。

○従来の指定医療機関での受診に加え、更なる受診の利便性が向上のために巡回型の健診を選択することができるようになりました。(現時点では女性の方に限定)

## ライオン健康保険組合からのお知らせ

### ● ジェネリック医薬品への切替え検討のお願いと委託先の変更について

- 医療費適正化に向けた取組みとして、第1回目の平成23年8月からジェネリック医薬品への切替えメリットが大きいと見込まれる対象者へ、ジェネリック医薬品への切替え通知を発送しています。直近では平成29年1月発送の12回目の切替え通知に対して、約13.6%の人がジェネリック医薬品へ切替えが確認されました。

#### 【ライオン健康保険組合の取組み】

<目標> 医薬品全体に占める全国平均は、現在67.9%（使用数量ベース）であり、厚生労働省の現在の目標値は80%です。ライオン健保組合でのジェネリック比率は約67.7%で、全国平均とほぼ同じ水準となっています。今後は、国が定める新基準：ジェネリック医薬品全体に占める目標割合：80%（平成30年3月まで）に対し、当健保組合の現在の水準をできるだけ近づけ、最終的に上回ることが目標となります。

<考え方>

- ・ ジェネリックは医療費節減（適正化）の一環として有効な手段とされています。
- ・ ライオン健康保険組合の事業として、加入者の皆様方から賛同を得られました。
- ・ 何よりも地道に活動を継続することが重要と考えます。今後も継続して実施します。

- ■ ジェネリック医薬品への切替え勧奨通知・案内、効果の測定、結果分析等の業務内容について委託先を今年の4月より、インテージ社から株式会社大正オデッセイへ変更し、分かりやすい情報の提供をこれからも続けていきます。

皆様のご理解、ご協力を頂きますよう、宜しくお願い致します。

### 【ジェネリック医薬品通知 実施状況経緯】

回	通知 発送月	効果 確認月	通知 対象者 (人)	転換者 (人)	転換率	想定効果額 年間(千円)		効果額 (円) (3か月)	ジェネリック医薬品割合 ※( )カッコ内は全国平均:厚労省				
						10割	健保 負担分		薬剤費		使用数量		全国平均 (厚労省)
8	27年1月	27年7月	540	77	14.3%	11,838	8,343	383,920	15.9%	(13.7%)	55.9%	(58.4%)	H27/1
9	27年7月	28年1月	787	88	11.2%	13,768	9,689	342,011	16.0%	(13.7%)	59.7%	(58.2%)	H27/7
10	28年1月	28年7月	720	107	14.9%	15,366	10,910	374,333	16.9%	(14.2%)	65.4%	(61.5%)	H28/1
11	28年7月	29年1月	881	133	15.1%	17,169	12,189	501,486	15.3%	(15.1%)	66.2%	(65.8%)	H28/7
12	29年1月	29年7月	744	101	13.6%	14,758	10,331	385,003	16.1%	(16.0%)	67.7%	(67.9%)	H29/1

## ライオン健康保険組合からのお知らせ

### ●関連規程の一部変更について

平成 30 年 4 月 1 日より組合規程が、以下の通り新設・一部変更になりました。

#### 新旧条文対照表

新	旧
<p><b>【事務取扱規程】</b> 第 28 条 (略) 2 前項の届に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(平成 25 年 5 月 31 日・法律第 27 号。以下「番号法」という。)第 2 条第 8 項に定める個人番号(以下「個人番号」という。)の記載があったときは、番号法に定める、当該個人番号が正しい番号であることの確認措置(番号確認措置)及び届出者が当該個人番号の保有者であることの確認(身元確認)(以下「番号確認措置」及び「身元確認)を「本人確認措置」という。)を実施すること。</p> <p>第 30 条 (略) 2 前項の申請書に個人番号の記載があったときの本人確認措置は、第 28 条第 2 項に準じ実施すること。</p> <p>第 31 条 産前・産後休業取得者申出書(規則第 135 条ノ 2)を受けた時は、遅滞なく次の手続きをすること。 (1) 申出書の記載内容に誤記または脱漏がないか審査し、誤りがないと認めた時は、免除開始年月日・免除終了年月日および保険料免除予定期間を記入すること。 (2) 届書の記載内容を電算機に入力すること。 (3) 産前・産後休業保険料免除該当通知書を交付すること。 (以下 1 条ずつ繰り下げ)</p> <p>第 43 条規則に定める保険給付にかかる申請において、当該申請書に個人番号の記載があったときの本人確認措置は、第 28 条第 2 項に準じ実施</p> <p><b>【会計取扱規程】</b> 出納員及び収入員の任免簿 <b>【システム運用規程】</b> (実務責任者の責務等)『任免』 事務担当者任免簿 <b>【機密文書管理規程】</b> 『から』へ</p> <p><b>【個人情報保護管理規程】</b> 同上</p> <p><b>【診療報酬明細書及び調剤報酬明細書の CSV 情報等一紙以外の媒体による保存に係る運用管理規程】</b> 同上</p> <p><b>【レセプトオンライン請求システムに係る安全対策の規程】</b> 同上</p> <p><b>【役職等の個人情報に関する規程】</b> 同上</p>	<p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>( (新設) 『任命』修正 (新設) 『より』修正</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p>

附則

(施行期日)

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から一部改正し施行する。

## ライオン健康保険組合からのお知らせ

### ● 医療費削減及び医療提供体制の向上に関して

#### ① 診療時間内に受診しましょう

休日・深夜に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者を受け入れるためのものです。また、時間外の受診には、割り増し料金がかかります。急病のときなど、やむえない場合を除き、なるべく診療時間内に受診するようにしましょう。

#### ② ハシゴ受診はやめましょう

かかりつけの医師を持ち、気になることはまずかかりつけの医師に相談しましょう。また、同じ病気で複数の医療機関を受診することは、医療費の増加だけでなく、重複する今の治療に不安があるときはその旨を伝えて話し合ってみましょう。

#### ③ 薬の飲み合わせに注意しましょう

薬は飲み合わせによっては、副作用を生じることがあります。お薬手帳の活用などにより、既に処方されている薬を医師や薬剤師に伝え、飲み合わせには注意しましょう。

#### ④ ジェネリック医薬品を使いましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、これまで薬効や安全性が実証されてきた先発医薬品と同等と厚生労働省が認めた低価格な医薬品です。ジェネリック医薬品を選択することにより、薬代の負担が軽減できるだけでなく、国の医療費の節減、医療保険財政の改善にもつながります。

#### ⑤ 健康管理・健康づくりを心掛けましょう。

生活習慣病は慢性化して治りにくく、長期の治療が必要になり、医療費も多くかかります。日頃から、栄養・休養・運動のバランスのとれた生活を送り、健康づくりを心掛けましょう。

#### ⑥ 定期的に健診を必ず受けましょう。

自覚症状がないまま進行する病気もあります。思い込みは禁物です。病気の早期発見・治療には健診がなにより。結果を心配するよりまずは必ず受診しましょう。

#### ⑦ 重症化しないように保健指導（積極的支援・動機付け支援）を必ず受けましょう。

支援の対象者は【生活習慣病発症の危険性が高い方】になります。自覚症状が現れたときには既に遅く、脳卒中、糖尿病、心筋梗塞等の1歩手前まで重症化している場合も多く見られます。

『まだ、大丈夫だろう』などと甘く見ず、危険因子を取り除く機会と考えて是非取り組んでください。



## ●【健康保険組合の新議員のご紹介】

健保組合の議員のうち、下記の網掛けの3名の方々が新しく議員になりましたので、お知らせ致します。(議員の任期は3年間です)

### ライオン健康保険組合議員名簿 (任期:平成30年7月20日～平成32年7月14日)

平成30年7月20日 現在

選定議員：9名 (うち、理事4名 監事1名)			互選議員：9名 (うち、理事4名 監事1名)		
氏名 (選挙区)	組合役職	所属事業所	氏名 (選挙区)	組合役職	所属事業所
小林 健二郎	理事長	ライオン(株) 本社	鬼木 隆行	理事	ライオン(株) 研究所 平井企画管理部
中沢 秀幸	常務理事	ライオン健康保険組合	木村 忠彦	理事	ライオン(株) 小田原工場
村上 智	理事	ライオン(株) 人事部	沼沢 豊重	理事	ライオン(株) 千葉工場
鎌尾 義明	理事	ライオン(株) 経理部	脇坂 智	理事	ライオン(株) 労働組合
後藤 勝樹	監事	ライオン(株) 監査室	尾崎 誠	監事	ライオン(株) 監査室
出口 美基夫	(事務検査委員) 議員	ライオンハイゼン(株)	鳥山 美枝子	(事務検査委員) 議員	ライオン(株) 人事部
中島 究	議員	ライオン(株) 大阪オフィス	大塚 春夫	議員	ライオン(株) 大阪工場
畑口 豊宏	議員	ライオン(株) 経営企画部	菅原 亨	議員	ライオンエンジニアリング(株)
藤本 潤	議員	ライオン・スペシャリティ・ ケミカルズ(株)	大屋 嘉彦	議員	ライオンパッケージング(株)

## ●【事務局メンバー】

平成30年8月現在の健保組合の事務局は下記の4名です。宜しくお願い致します。

事務長 : 酒井 俊祐  
書記 : 庄 智彦  
書記 : 須田 吉一  
書記 : 野村 ゆり子

ライオン健康保険組合 ☎03-3621-6171